



令和4年度第1回定例理事会の様相

令和3年度の事業報告並びに決算を主な議題に、第1回定例理事会(5月11日開催)と第1回定時評議員会(6月8日開催)がそれぞれオンラインで開催されました。

※承認された令和3年度事業報告並びに決算については2面から4面に、評議員の交替については5面に掲載されています。

■第1回定例理事会

理事定数22名のうち21名、監事2名の参加により開催されました。

会議では、令和3年度の事業報告及び決算が審議され賛成多数で承認可決されました。審議において、理事から決算書の事業費支出の表記のあり方や、寄附金の取り扱いについて意見があり、決算書の表記は法令などに基つき、事業内容がより分かるように検討していくこと、また、

第1回定例理事会 第1回定時評議員会

令和3年度事業報告と決算を承認

日 身 連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)

発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダンビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp

Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)

年間購読料 正会員1部 3000円
非会員1部 1000円

寄附金の取り扱いについては財政の安定化に対する検討委員会、引き続き検討していくことが確認されました。

その他、評議員の交替に関する議案第1回定時評議員会開催に関する議案について審議され、異議なく全会一致で承認可決されました。なお、評議員の交替については、理事会後に開催された第9回評議員選任・解任委員会において候補者の選任が承認されました。

■第1回定時評議員会

評議員定数62名のうち48名、監事2名、正副会長5名の参加により開催されました。

会議では、令和3年度事業報告及び評議員の交替が報告事項として説明されました。報告を受け、評議員からは地域における身体障害者相談員活動の厳しい状況に関する意見として、身体的・知的障害者相談員の委嘱が平成24年に都道府県から市町村に委譲されて以降、市町村によっては委嘱を取りやめる等の現状や、障害者相談員の認知度の低さ等が指摘されました。日身連としては、今年度、身体障害者相談員の状況調査の実施に向けて検討を進めているほか、国や政党等に対し、引き続きさまざまな機会をとらえ身体障害者相談員の充実強化について積極的に要望していくことが確認されました。

議案として審議された令和3年度の決算については、異議なく全会一致で承認可決されました。なお、審議において、評議員からは、いくつかの事業



令和4年度第1回定時評議員会の様相

の支出の金額の内訳に関する質問がありました。事業費支出の表記のあり方については、令和4年度第1回定例理事会でも指摘されたことから、法令などに基つきながら事業内容がより分かるように検討していくことが確認されました。

令和3(2021)年度 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会事業報告

令和3年度は、障害者差別解消法改正法の成立や改正バリアフリー法の施行等、障害者施策にとり大きな進展の年となった。日本身体障害者団体連合会(以下、「日身連」という)は、障害関連の動きに注視し、府省庁や与党の会議等のメンバーとして参画するとともに、ヒアリング要請においては、会長および日身連組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会(以下、「組織・施策等検討委員会」という)を中心に対応に努めた。

また、バリアフリー関連の整備が加速するなかにおいて、加盟団体と協力連携して、障害当事者の視点からバリアフリー整備の進展に向け意見具申に努めた。

新型コロナウイルス感染症や大規模災害関連の対策については、個人の尊厳と生命の安全の上に障害特性に配慮したサポート体制や情報保障が確保されるよう要望するとともに、コロナ禍で困難にしている団体運営や活動の課題改善への働きかけに努めた。さらに、感染症予防対策関連の情報については、機関紙やホームページを通じ、遅滞ないよう加盟団体への提供共有に努めた。

障害理解の啓発促進については、日身連においても重要な活動の一つに位置づけてきているが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に高まった社会の関心を好機として一層の理解啓発に向けて、障害分野以外にも交流を行う等、多方面に目を向け取り組んだ。

日身連の財政及び組織体制の懸案事項については、最重要課題として財政の安定化に対する検討委員会(以下、「財政検討委員会」という)並びに組織・施策等検討委員会を中心に課題改善に向け取り組んだ。そのほか、日身連の事業運営においては、計画した行事や会議が円滑に実施できるよう、オンラインの活用や企画内容の工夫等に努め遂行した。

◆日身連の主な事業 1. 第66回日本身体障害者福祉大会 「コロナ禍を越え、強い絆で」

本大会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初予定していた福岡県での開催が来年度に延期となったことから、日身連本部が主催となり運営にあたった。万全な感染症予防対策に心掛け、ライブ配信(会長および副会長は地元からオンライン参加)による大会開催として、6月28日(月)、2部構成で行った。

第1部は、事前収録した村木厚子氏(内閣府政策参与、津田塾大学客員教授、元厚生労働省事務次官)による講演「生きやすい地域社会を創る」障害者団体に期待すること」と、阿部一彦日身連会長とのショート対談を行った。

第2部は、式典と議事を行い、日身連会長被表彰者48人の方を写真とともに紹介したほか、約半世紀にわたりご寄付いただき、この度廃業される日身連協力会に感謝状を贈呈した。議事では、大会決議、大会宣言のほか、令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画の報告が行われた。

2. 国及び政党等に対する要請行動並びに審議会等への積極的参画

① 内閣府障害者政策委員会や厚生労働省社会保障審議会障害者部会、労働政策審議会障害者雇用分科会をはじめ、内閣官房、内閣府、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、総務省、経済産業省、金融庁、警察庁等の委員会や検討会等のほか与党のヒアリングや委員会に出席し、意見具申に努めた。

② 事業者による合理的配慮の提供の義務化等の改正が行われた障害者差別解消法については、改正法により基本方針が改定されることから、内閣府障害者政策委員会において行われた団体ヒアリングに参加し、意見要望を行った。

③ 新型コロナウイルス感染症に関する意

見交換会やヒアリングにも積極的に参加し、障害特性に配慮した接遇やコミュニケーションのあり方、感染予防対策に関するハード面ソフト面での対応等について必要な対策が講じられるよう求めた。

④ 国や民間企業等からの協力要請に関しても積極的に対応し、バリアフリー環境の整備や障害理解に係る啓発・促進が図られるよう働きかけに努めた。

・アンケート・公共交通機関の新たな日常を踏ま

4. 中央障害者社会参加推進センター事業の充実

① 新型コロナウイルス感染症の終息がみえないことから6ブロックでの障害者相談員研修会並びに障害者110番事業研修会については、感染予防を第一に、以下のとおり実施または中止した。
② ブロックでの身体障害者相談員研修会2ブロックはオンラインを活用し開催
・九州ブロック(令和3年12月2日、3日/熊本県)
・市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本県熊本市)で感染症対策を十分に講じて開催、後日オンデマンド配信。会場及び視聴参加者は延べ665人
(第1日目)
第1研究部会「障害者差別解消法および心のバリアフリーの理解と地域社会への啓発について」
第2研究部会「地域障がい者団体と相談員の活動活性化について」
(第2日目)
講演「ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリー」東京2020大会がもたらしたもの、そして強く前へ」
講師 高橋儀平氏(東洋大学名誉教授・近畿ブロック(令和3年12月3日、9日/兵庫県)
事前収録した動画をYouTubeで限定配信、視聴者数は延べ560人
講演「障害者への新型コロナウイルス感染症にかかわる対応、感染予防について」講師 藤川雄一氏(厚生労働省障害福祉課相談支援専門官)
4ブロック(東北・北海道 関東甲信越・中部・中国)は中止
② 日身連トータルセミナー「2020東京オリパラを終えて 障害理解促進への期待と展望」(令和4年3月15日)3月31日・限定配信
講師/田口亜希氏(元射撃パラアスリート)日本パラリンピック協会理事)進行/阿部一彦日身連会長
社会参加推進センター関係者や障害者110番事業従事者等相談実務経験者等を対象にオンライン配信
令和4年3月25日(金)、中央障害者団体

及び学識経験者等で構成される中央障害者社会参加推進協議会(14団体及び中央障害者社会参加推進協議会部会(11団体)合同委員会をオンラインで開催し、厚生労働省障害福祉部企画課自立支援振興室の小林靖室長補佐に出席いただいた。会議では、事業変更に伴う予算執行の内容確認や令和4年度事業計画案を協議したほか、各団体における障害者の社会参加に資する取組状況等について活発に意見交換を行った。

5. 障害者相談支援事業の充実

① 令和4年2月22日(火)、身体障害者相談員全国連絡協議会理事会をオンラインで開催し、令和3年度事業報告案及び決算見込、令和4年度事業計画案及び予算案について審議したほか、コロナ禍での研修事業運営や地域の取組等について意見交換を行うとともに、障害者相談活動の課題について議論を行った。身体障害者相談員全国連絡協議会会員向け「相談員会報」(令和3年度版、第23号8000部、年1回)を発行し、協議会理事会の報告のほか、障害者関連施策の動向や日身連の活動等の情報提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策や国等からの通知や相談活動に活用できる情報の提供にも努めた。
② 令和2年度出版した「障害者相談員のための活動ハンドブック」が広く活用されるように機関紙やホームページ等を介し、周知広報に努めた。

6. 障害及び障害者理解の啓発促進

① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、障害者権利条約の国別審査が滞るなか、パラレルレポートに関する理解認識を図るため、JDFと連携し報告会の開催に向け取り組んだ。
② 改正障害者差別解消法の理解促進に向け、心のバリアフリーに対する理解啓発が地域へさらに広がるよう、情報発信と情報共有に努めた。加えて、企業からの協力依頼に応える等、加盟団体の協力を得ながら多方面にわたり取り組んだ。民間団体や事業者からの協力依頼につ

いても積極的に取り組んだ。
① 空港施設内等を会場に開催したインクルーシブフェスティバルの実施に向け協力した。(全国23空港)

② NTDタータや野村総合研究所等から障害のある人の交通移動環境や生活環境、補装具等に関する調査やヒアリングに協力するとともに、障害理解の啓発に努めた。

7. 消費生活協同組合社会福祉活動等助成事業

「身体障害者団体の動向等に関する理解啓発事業」として、障害者を取り巻く制度や環境の課題や障害者施策の変遷等を情報発信してきた機関

2021年度財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	貸借対照表価額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	手元有高(法人本部拠点区分)	40,124
	みずほ銀行他預貯金(法人本部・助成事業)	26,502,438
	現金預金小計	26,542,562
未収金	助成事業助成金未収分(助成事業拠点区分)他	2,278,928
貯蔵品	障害者相談員のための活動ハンドブック他	361,963
立替金	団体立替金	27,855
前払金	公債取得時額面超過額	13,776
前払費用	2022年4月分事務所家賃	300,000
その他の流動資産	Suicaデポジット	2,000
流動資産合計		29,527,084
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	第328回10年国債他	320,000,000
基本財産合計		320,000,000
(2) その他の固定資産		
器具及び備品	事務所金庫等	68,088
ソフトウェア	ジバング倶楽部管理システム	208,800
事業安定化資金積立資産	みずほ銀行ほか	31,000,000
退職手当積立基金預け金	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金	19,659,170
差入保証金	事務所保証金(2か月分)	600,000
その他の固定資産合計		51,536,058
固定資産合計		371,536,058
【資産合計】		401,063,142
II 負債の部		
1. 流動負債		
その他の未払金	業者等支払分他	3,897,137
職員預り金	社会保険料(職員預り分)3月分	151,725
前受金	2022年度助成事業費(助成事業拠点区分)他	1,200,380
流動負債合計		5,249,242
2. 固定負債		
退職給付引当金	職員退職給付引当金	23,408,600
前受収益	地方債取得価額と債権額面との差額から償還期間にわたり当期までの対応分の控除後の金額	4,886,932
固定負債合計		28,295,532
【負債合計】		33,544,774
【差引純資産】		367,518,368

2021年度資金収支計算書(法人単位)

(白) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位:円)

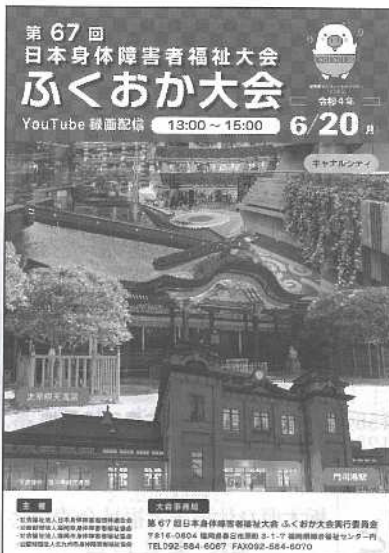
勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	中央障害者社会参加推進センター事業収入	17,655,000	17,655,000	0
	分担金等収入	9,495,000	9,450,000	45,000
	協議会会費収入	630,000	630,000	0
	経常経費寄附金収入	8,300,000	4,003,733	4,296,267
	受取利息配当金収入	1,225,000	1,224,899	101
	その他の収入	9,011,500	8,312,910	698,590

第67回日本身体障害者福祉大会 ふくおか大会のご案内

YouTube録画配信
令和4年6月20日(月)
13:00~15:00
(見逃し配信はありません)

配信時間になりましたら、日身連のホームページにYouTubeのURLをお知らせします。

日身連ホームページ
<https://www.nissinren.or.jp/>



令和4年5月日身連役員等の 各委員会会議等への出席状況

○10日(火)

▼厚労省労働政策審議会障害者雇用分科会第118回…WEB開催/菊地通雄常務理事兼事務局長(代理出席)

○11日(水)

▼令和4年度第1回定例理事会

▼日身連評議員選任解任委員会第9回…WEB開催/菊地通雄常務理事兼事務局長

○12日(木)

▼全社協障害関係団体連絡協議会常任協議員会…WEB開催/阿部一彦会長

▼菊地通雄常務理事兼事務局長

▼全社協障害関係団体連絡協議会協議員総会…WEB開催/阿部一彦会長

▼菊地通雄常務理事兼事務局長

○16日(月)

▼厚労省社会保障審議会障害者部会第119回…WEB開催/阿部一彦会長

○23日(月)

▼NTTデータ経営研究所障害を理由と

する差別等に関する調査事業にかかるヒアリング…WEB開催/阿部一彦会長、荻津和良理事(組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会委員長)、浅香博文理事(同副委員長)、菊地通雄常務理事兼事務局長

▼日本障害者リハビリテーション協会理事

事会…WEB開催/阿部一彦会長

○24日(火)

▼内閣府障害者政策委員会第65回…WEB開催/阿部一彦会長

○25日(水)

▼厚労省労働政策審議会障害者雇用分

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科

科